

# サークルから 会員募集

**穂交会(生け花(小原流))**  
第2・4水曜日 / 10時～12時 / 老人憩いの家「おあしす」 / 入会金1,000円・月額1,500円・花代1,000円(1回につき) /

**社交ダンス夢(初・中級の方)**  
毎週水曜日 / 18時～20時 / アスタ市民ホール / 入会金1,000円・月額3,000円 /

**保谷着付研究会**  
月2回金曜日 / 10時～12時 / 住吉町第二市民集会所 / 入会金1,000円・月額2,000円(初回無料) /

**故郷の城跡巡り愛好会**  
第1・4水曜日 / 14時～16時 / 田無公民館ほか / 入会金5,000円 /

**西東京ハングルの会(入門)**  
月4回月曜日 / 12時05分～12時55分 / 田無公民館 / 入会金1,500円・月額3,500円 /

※金額の記載がないものは無料です。

4月1日号の原稿締め切りは、2月20日(火)です。

**公民館運営審議会**  
傍聴をご希望の方は、事前に申し込んでください。  
時 2月21日(水)18時半～  
場 柳沢公民館  
内 事業計画・報告について ほか  
申 電話で柳沢公民館へ

# 市民企画事業 / 事業案内

**平穏な生活が壊された！**  
—東京外環道事業被害の実態と問題点—  
**緑・住環境どうなる、保谷3・4・6道路ちょっと待ってよの会**  
地下40m以深にトンネルを掘る工事で、住宅地に多大な被害が発生。地上に影響なしとする工法なのに何故そんなことになったのでしょうか…。  
時 2月24日(土) 14時～16時半  
場 保谷駅前公民館  
定 40人(先着順)  
講 丸山重威(関東学院大学法学部教授)  
¥ 100円(資料代・広報費)  
連

**こどももおとなも笑顔になる地域社会へ**  
**西東京わいわいネット**  
西東京市子ども条例をいかすため、「マジか!BOX」に届いたこどもの声と虐待被害当事者の講師の話に基づき、何が出来るか考えてみよう♪  
時 3月3日(日) 14時～16時  
場 田無公民館  
定 42人(申込順)  
講 藍葉真澄(子どもの未来をかえる会代表、看護師)  
申 2月2日(金) 10時から電話で下記へ  
連

# 利用者懇談会のお知らせ

**団体連絡箱使用申請を受け付けます**  
利用者みなさんと一緒に、よりよい公民館の運営について考える利用者懇談会を開催します。  
併せて、令和6年度の団体連絡箱の使用を希望する団体の調整も行います。使用を希望する団体は、申請書を提出の上、必ずご参加ください。

**◆団体連絡箱申請期間**  
2月1日(木)～2月29日(木)  
※最終日は17時まで  
※使用を希望する公民館へ申請書を提出してください。申請できるのは、活動拠点としている1館のみです。  
※詳細は市HPをご覧ください。

**◆利用者懇談会日程**

館名	日時
ひばりが丘	3月9日(土) 10時～
芝久保	3月16日(土) 10時～
谷戸	3月16日(土) 14時～
田無	3月23日(土) ①地下の団体連絡箱希望団体 9時半～ ②2階の団体連絡箱29～56番(下2段)希望団体 10時45分～ ③2階の団体連絡箱1～28番(上2段)希望団体 12時～
保谷駅前	3月23日(土) 14時～
柳沢	3月24日(日) ①小ロッカー希望団体 10時～ ②その他 13時半～

※直接、会場へお越しください。

# 令和6年度 公民館市民企画事業 第1回説明会

公民館市民企画事業は、市民に多様な学習機会を提供することを目的に、市内の自主グループが企画・運営する事業を、審査の上、自主グループと公民館の共催事業として実施するものです。この制度を利用できるのは、その年度の説明会に参加した自主グループです。令和6年度公民館市民企画事業第1回説明会は、下記の日程で行います。  
実施期間や申請期間等については3月1日号をご覧ください。  
時 ①3月4日(月) 19時～21時  
②3月5日(火) 10時～12時  
場 柳沢公民館  
※直接、会場へお越しください。

**おたのしみ川柳** 今月のお題「自由題」

① せと変えたマスク・リモート二刀流 さいま  
② 難問だ出されたテーマ「自由題」 てつろ  
③ 立ったけど何とするのか？立ちすくむ 稲生

氏名・ペンネーム・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。

4月号テーマ「新人」  
「新人」の文字を入れなくても構いません

締切 2月22日(木)

**寸評**  
①会うならマスク、会わぬなら遠隔。球界の寵児もその身は一つ ②自由はときに苦難。はみ出しを恐れぬ人生を ③忘却は自由へのヒントかもしれぬ。

# 1面からの続き

## 想いをのせた



## なメディア すぐろく制作メンバーへのインタビュー

1面で紹介した「マジか!すぐろく」の制作に関わったメンバーに想いを聞きました。

**一「マジか!すぐろく」の魅力は?**  
大川…まず、すぐろくとしてとても面白いところですね。子どもの実体験と想いを込めることができてよかったです  
小島…改めて『マジか!』の切れ味がすごいと思いました。ホントそうだよねと。でも『あるある!』と納得して済ませちゃいけないんです  
渡邊…大人と子どもと一緒にやっても、子ども同士でもすぐろく盛り上がりやすい。『西東京市子ども条例』の条文も知れて、子どもとの接し方を学びながらつながれるところが魅力ですね  
編集員も4人と一緒に実際にプレイ。読み上げられる「マジか!カード」の内容に、つい大きな声で「マジか!」と相づち。遊ぶ人たちの個性と

コミュニケーションを引き出す「マジか!カード」の普遍性や盤面の工夫が光ります。

**一「マジか!カード」には、子どもたちの本音が詰まっていますね。子どもを取り巻く現状についてどう思いますか?**  
小林…社会問題のほとんどが子どもの問題と絡んでいると思います。勉強する以外の場所がなく、不満を言う機会がないと、自身の内面からも不満を消してしまおう。せめてゲームの中で強制的に不満を言うぐらいはしないと大変なことになるのではと思います  
**一不満を言わないでいると不満として感じなくなってしまうと**  
小林…大学1年生の時から就職説明会があり、就職に有利に働くかを基準にサークルを選ぶ学生がいます。その結果、雇用する側に迎合したスキルを身に付けることになり、雇う側のいいようになっ

てます。自由な学びの時間を、学生が自分で失くしているんです  
渡邊…私は世界で起きている話に興味があり、子どもが虐げられている話を聞いて、こういうの作るの大事!と思いました。子どもがいられる場所がもっとあったらいいと思うから、私の夢の一つは駄菓子屋を開くことです。私は小規模で特色ある保育園出身で『自由さ』を叩き込まれたけれど、小学校に上がるとクラス制の幼稚園や保育園の子が大半でした。私は自分が少数派という意識があり、集団が強いことの違和感に気づくこともありました  
小林さんが感じた就職を至上の目的とする学びの動機の不自由さと、小学生の頃に渡邊さんが覚えた違和感、子どもに限らずあらゆる人の多様性を肯定する目指すべき社会と現状とのギャップを浮き彫りにします。

「マジか!すぐろく」がモデルにした先例は、『子どものけんり なんでもやねん!すぐろく』(初版:2021年、子どもの権利条約関西ネットワーク)。それで遊んでみた「西東京わいわいネット」からこぼれた「西東京版を!」という声が、公民館講座に発展し今回の「マジか!すぐろく」は生まれました。  
“わたしたちは、まち全体で子どもの育ちを支える、子どもにやさしい西東京をともにつくっていきます”  
この西東京市子ども条例前文冒頭に込められた想いが、“マジか!”なメディアによって、未来の費を転がします。

